

立命館大学大学院
2018年度実施 入学試験
博士課程前期課程

スポーツ健康科学研究科
スポーツ健康科学専攻

入試方式	実施月	論述	
		ページ	備考
一般入学試験	11月	P.1～	
	2月	P.4～	
社会人入学試験	11月	P.1～	
	2月	×	
外国人留学生入学試験	11月	P.1～	
	2月	P.4～	
学内進学入学試験	7月		
	11月		

立命館大学大学院
2018年度実施 入学試験
博士課程後期課程

スポーツ健康科学研究科
スポーツ健康科学専攻

入試方式	実施月	
一般入学試験	11月	筆記試験なし
	2月	
社会人入学試験	11月	
	2月	
学内進学入学試験	11月	

受験番号

2019年度 立命館大学大学院
スポーツ健康科学研究科【博士課程前期課程】
入学試験問題

筆記試験 論述
(基礎問題・専門問題)

試 験 時 間
11:00 ~ 12:00 (60分)

2018年11月17日 (土)

《注意事項》

1. 配布された全ての用紙の所定欄に受験番号を記入すること。
2. 解答は日本語を用い、答案用紙に横書きで記入すること。
3. 基礎問題、専門問題ともに解答すること。
4. 答案用紙は、計2枚。
5. 試験終了後、配布した問題用紙等は全て回収する。

基礎問題

以下の図は、平成 29 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書（スポーツ庁）より、「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している」にあてはまるかどうかを尋ねた設問と 1 週間の総運動時間との関係を示したものである。

<計 60 点>

(1) 図から読み取れる事柄について、300 字程度で説明しなさい。 <40 点>

(2) (1) を踏まえ、「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦」できるようになるためにはどうすればいいかについて、200 字程度で考察しなさい。 <20 点>

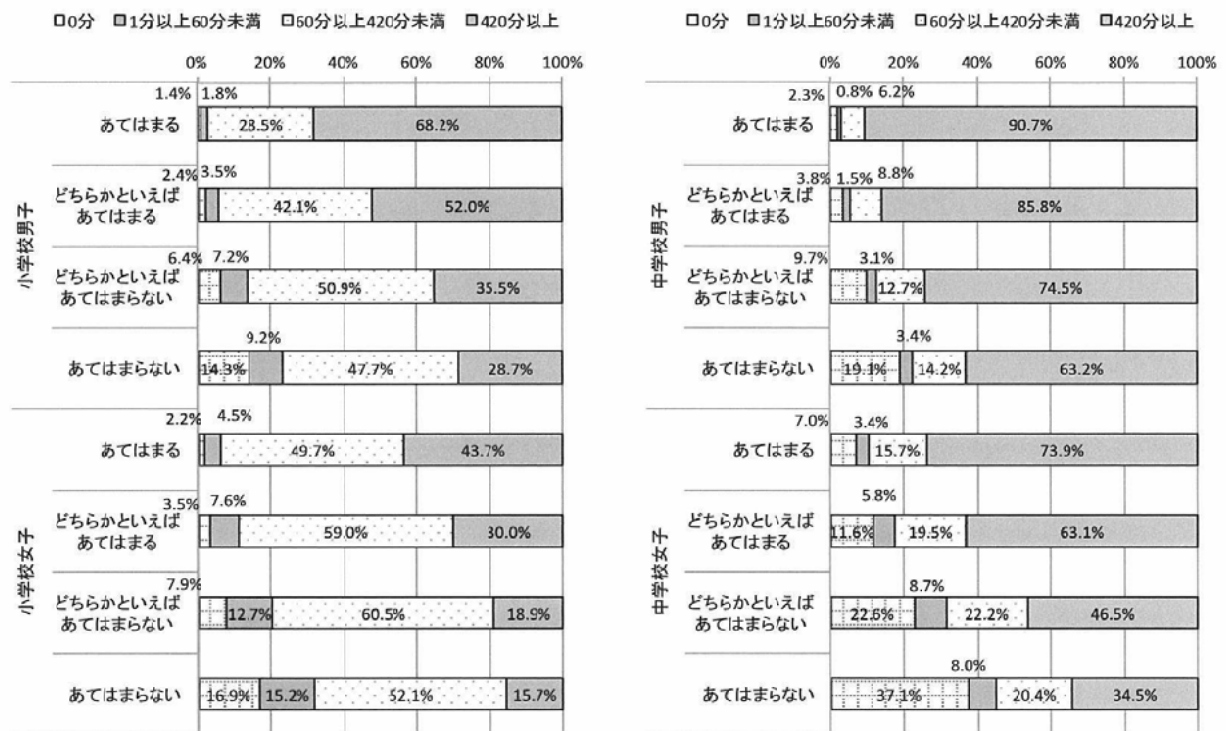


図 挑戦の意識と1週間の総運動時間との関係

出典：「平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書」（スポーツ庁）
http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/kodomo/zencyo/1401184.htm を加工して作成

専門問題

次の（１）～（４）の問題のうち１問を選択し、答案用紙に 500 字以内 で解答しなさい。答案用紙には選んだ問題の番号を必ず記入しなさい。

<計 40 点>

（１）スポーツ健康科学

最大酸素摂取量の限定要因と、最大酸素摂取量がスポーツの競技成績と健康に与える影響について論述しなさい。

（２）生涯スポーツ論

我が国のスポーツ参加率、または参加継続率に影響を及ぼすスポーツ振興システム上の問題について、具体的に説明しなさい。またそのような問題を解決するために、総合型地域スポーツクラブが果たす役割や機能について、具体例をあげて論述しなさい。

（３）基礎機能解剖論

ハムストリングを構成する筋の名称と、その起始、停止、作用について論述しなさい。

（４）コーチング論

スポーツが好きで毎日練習をしていた子どもが、親や指導者からご褒美やほめ言葉をもらうようになった結果、モチベーションが低くなり、以前ほど自主的に練習をやらなくなることがある。このような現象について、内発的動機づけの観点から論述しなさい。

以 上

受験番号

2019年度 立命館大学大学院
スポーツ健康科学研究科【博士課程前期課程】
入学試験問題

筆記試験 論述
(基礎問題・専門問題)

試 験 時 間
11:00 ～ 12:00 (60分)

2019年2月9日(土)

《注意事項》

1. 配布された全ての用紙の所定欄に受験番号を記入すること。
2. 解答は日本語を用い、答案用紙に横書きで記入すること。
3. 基礎問題、専門問題ともに解答すること。
4. 答案用紙は、計2枚。
5. 試験終了後、配布した問題用紙等は全て回収する。

基礎問題

以下の二つの表は、2010年から2015年のスポーツの報道量（ニュース、情報ワイドショー、スポーツ情報番組が対象。スポーツ中継番組、中継ダイジェスト番組は調査対象外。）の推移について示したものである。例えば、2015年の「スポーツに関する報道量の推移」における「スポーツ報道量」は、2,073時間24分というように、「:」の前が「時間」、「:」の後が「分」を示す。

<計60点>

(1) 下記の二つの表、それぞれから読み取れるスポーツの報道量の特徴と傾向を 300字程度 で説明しなさい。なお、「競技別の報道量の推移」を説明する際には三競技を選び、その特徴と傾向を説明すること。

<40点>

(2) また上記(1)で自ら取り上げた三競技について、なぜそのように変動したのか、数値の変動に影響を及ぼしたと思われる要因について 200字程度 で考察しなさい。

<20点>

スポーツに関する報道量の推移（時間：分）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
全報道量	16,273:48	18,112:53	19,564:20	22,302:24	23,234:24	25,536:47
スポーツ報道量	2,862:29	2,214:37	2,246:46	2,013:09	2,275:29	2,073:24
全報道に占める割合(%)	17.6	12.2	11.5	9.0	9.8	8.1

注 NHK、日本テレビ、TBS、フジテレビ、テレビ朝日、テレビ東京における報道量の合計。

ニホンモニター「テレビスポーツデータ年鑑」（2010～2015）より作成
出典：笹川スポーツ財団『スポーツ白書 2017～スポーツによるソーシャルイノベーション～』，2017年，p.21. (ISBN:978-4-915944-63-5) 権利者の許可を得て掲載。

競技別の報道量の推移（時間：分）

競技	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
野球	698:59	757:06	681:05	835:05	527:30	658:43
サッカー	837:13	743:38	702:09	403:04	650:30	405:47
ラグビー	9:32	17:34	6:40	11:43	13:14	143:43
フィギュアスケート	216:07	88:33	66:55	121:58	297:58	125:29
テニス	19:05	15:47	33:46	25:30	121:08	98:58
相撲	423:20	179:08	51:55	61:58	71:27	82:41
水泳・シンクロ	23:29	32:27	89:35	62:05	52:19	67:03
陸上競技	13:29	27:32	40:27	49:18	17:32	62:29
ゴルフ	177:29	102:39	65:15	75:37	61:04	49:11
バレーボール	22:04	26:20	45:58	26:29	15:47	31:46
プロレスその他格闘技	13:20	10:13	68:47	17:44	16:28	26:39
公営競技	17:02	15:38	10:46	13:24	12:07	18:51
モータースポーツ	5:26	5:06	4:02	5:38	6:56	5:54

注1 サッカーは過去データの再集計を行った。

注2 2012年まで、公営競技は競馬・競輪、プロレスその他格闘技はレスリングを含む。

ニホンモニター「テレビスポーツデータ年鑑」（2010～2015）より作成

出典：笹川スポーツ財団『スポーツ白書 2017～スポーツによるソーシャルイノベーション～』，2017年，p.211. (ISBN:978-4-915944-63-5) 権利者の許可を得て掲載。

専門問題

次の（１）～（４）の問題のうち１問を選択し、答案用紙に 500 字以内 で解答しなさい。答案用紙には選んだ問題の番号を必ず記入しなさい。

＜計 40 点＞

（１）スポーツ健康科学

2 型糖尿病の改善に対する運動療法ならびに食事療法の効果と、それらの具体的実践例および留意点について、論述しなさい。

（２）生涯スポーツ論

障がいのある人の視点からパラリンピックが開催されることによる功罪について、具体的に論述しなさい。

（３）基礎機能解剖論

関節の可動域を規定する因子について主要なものを 3 つ挙げ、それぞれ具体的な例を挙げて論述しなさい。

（４）コーチング論

「あがり」は過度な緊張や不安により、成績や記録の低下、あるいはさまざまな不適応をともなった心理的、生理的特徴とされているが、我が国の多くの競技者は何らかの原因で「あがり」を経験していると言われている。「あがり」の兆候について生理面、心理面、行動面から説明し、防止法について論述しなさい。

以 上